



外務省の会見室にて、マスコミ向けの定例記者会見に臨む城内実外務副大臣

「外務副大臣に就任されました。適材適所との声が多く寄せられています。」

初めて、この度の外務副大臣就任にあたり、祝意をお寄せくださいました多くの皆さま、また地元浜松・湖西の支援者の皆さんに心から御礼申し上げます。私は、自由民主党で、外務省出身の唯一の議員です。外交は、私たちの生活と離れて考えがちですが、実は、経済分野など、

毎日の生活とも関係しています。ご期待にお応えできるよう、早速全力で走っています！

「それでは、外務副大臣に就任しての抱負をお聞かせください。」

外務副大臣として、最も重要なことは、安倍晋三総理大臣、岸田文雄外務大臣を支え、「地球儀を俯瞰する」視点から、外務省を実現することです。また、国際協調主義に基づいての外交を実現していくたい。

「外務副大臣として、最も重要なことは、安倍晋三総理大臣としての、私の所管事項でもあるのですが、正しい日本の姿、正しい日本の歴史問題に対する取り組みを、強力に世界に対して発信していくたい。」

こういうことを言うと、すぐには「歴史修正主義」といった批判もされます。こうした批判をする人たちと同じ土俵で論戦してなかなか打ち合

「国益を守る外交のため、今後の活躍に期待します！」

所管する地域はアジア、大洋州、欧州、アフリカです。北朝鮮による拉致問題など、困難な課題も多くある地域での責任を果たしてまいりたいと思います。引き続き、ご支援をお願いいたします。（まとめ）



永田町でも、今回の城内氏の外務副大臣就任を歓迎し、期待する声は大きい。自民党の中でも、着実に経験を重ね、与えられた役職をしっかりと努めてきた実績によるものだ。

外務副大臣就任！

国益を守る外交を！



自由民主党静岡県
第7選挙区支部

平成26年9月、第二次安倍改造内閣が発足しました。安倍総理自身が「実行実現内閣」と名付けたこの内閣で、城内実氏が外務副大臣に就任しました。永田町の番記者が、城内実氏に日本外交の中でも、日本の国益を守り、地域の平和と安定に貢献する外交の実現のため、満を持しての就任厳しさを増すアジア太平洋地域の安全保障環境の中で、日本の国益を守り、地域の平和と安定に貢献する外交の実現のため、満を持しての就任だ。永田町の番記者が、城内実氏に日本外交の在り方や抱負を聞いた。

一分かりました。御自身として取り組みたいテーマはありますか？

はい、就任したのが9月4日夕方のことでしたが、すでに20人近い外国要人の方をお迎えしました。また、エジプト、エリトリア、タイを訪問しました。特にエリトリアは、まだ日本であまり聞かない国名かもしれません。紅海に面したアフリカの国ですが、地理的に、今後、日本にとって重要な国になると考えます。私は、こうした中小の国々も直接訪問することで、日本について理解を深めてもらうと同時に、企業の海外進出の支援ができると考えます。国会日程との調整など、時間が限られた中ですが、精力的に国際訪問を行っていきたいと思います。

あかないことが多いことから、むしろ平和の道を歩んできた正しい日本の姿、本来の以上に積極的に貢献していくなければならぬと考えています。

一着任早々、外国訪問や外国人との会談が続いているですね。

最新情報はこちら！ 城内みのるオフィシャルサイト

携帯電話でもご覧いただけます



<http://www.m-kiuchi.com>



外務副大臣に就任後、海外訪問等の公務で地元浜松・湖西に戻る時間が減ってしまいました。しかし、これまで以上に地域や支援者の皆さまとの交流の機会を大切に、有意義に過ごしたいと考えています。浜松・湖西は、ものづくりの町であると同時に、伝統民族芸能等の文化遺産も多く、自然にも恵まれ山・川・海の特産品もたくさんあります。こうした魅力を世界に広めたいと考えています。

発信するチャンスとして、2011年の「G8サミット首脳会合」の開催を誘致することにも力を入れています。一時的な来県者数の増加のみならず、国内外からの観光客が増え、地域経済の活性化につながることが期待されるため、誘致には複数の県や市が立候補しています。私も縁の下の力持ち役で、「富士山・浜名湖サミット」の誘致成功に向けて汗をかいてま

G8サミット首脳会合の誘致に向けて

毎年恒例の棚田での田植え、引佐町久留女木にて。今年もほんの少しお手伝いさせていただきました



古
便
り

▶城内実後援会 地域間交流の鯛網漁にて。毎年恒例で、楽しみにしている後援会行事の一つです

▼天竜山桜を見る会にて、地域の皆さまと共に。豊かな自然の中、そよ風も気持ち良く



新所原ふれあい納涼祭にて、楽しいひと時。地域の皆さまとの交流は、心安らぎます

地域のみなさまと



引佐の野原神社祭典にて。地域の伝統行事「税理士による城内実後援会」設立総会にて。心強いご支援の絆をまた一ついたしました

城内 実 略歴

(きうち・みのる) 1965年4月19日生まれ。49歳。東京大学卒業後、外務省に入省。在ドイツ日本大使館勤務。天皇陛下、首相らのドイツ語通訳官を経て、2002年に退官。地元の自民党支部長公募に応募し、03年、衆議院議員初当選。05年総選挙で748票差で惜敗するも、09年総選挙で再選。これまで法務委員会、文部科学委員会、農林水産委員会、郵政民営化特別委員会、環境委員会などに在籍。12年、自民党に復党し12月の総選挙で3選。同月に発足した第2次安倍晋三内閣で、外務大臣政務官に就任。アジア大洋州局、南部アジア部、欧州局のほか、総合外交政策局、経済局も担当。平成25年10月、自由民主党外交部会長に就任。平成26年9月、外務副大臣就任。

第45回衆議院議員総選挙(平成21年8月30日)

静岡県第7選挙区 小選挙区開票結果

候補者名	党派	得票数	得票率
城内 実	無所属	129,376	52.09%
斉木 武志氏	民主	63,116	25.41%
片山さつき氏	自民	54,128	21.79%
竹内 隆文氏	幸福実現	1,764	0.71%

有権者数326,020人 投票者数250,190人 投票率76.74%

第46回衆議院議員総選挙(平成24年12月16日)

静岡県第7選挙区 小選挙区開票結果

候補者名	党派	得票数	得票率
城内 実	自民	125,315	59.60%
斉木 武志氏	民主	40,452	19.24%
河合 純一氏	みんな	29,966	14.25%
落合 勝二氏	共産	7,413	3.53%
野末 修治氏	未来	7,105	3.38%

有権者数327,416人 投票者数214,087人 投票率65.39%

お問い合わせ

【浜松後援会事務所・自由民主党静岡県第7選挙区支部】

〒433-8112 静岡県浜松市北区初生町691-1

TEL <053> 430-5789 FAX <053> 430-5756

【国会事務所】

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館623号室

TEL <03> 3508-7441 FAX <03> 3508-3921

E-mail : info@m-kiuchi.com URL : <http://www.m-kiuchi.com>



メール会員登録募集中!

城内みのるの最新の活動報告や、新聞・雑誌掲載情報などいち早くメールでお知らせしています!



アクセスはこちらから!

タイ首相府にて、プラユット首相と
エリトリア・オリンピック委員会との間におけるスポーツ交流に関する覚書署名式にて。仕掛け人の星槎グループ宮澤保夫会長と
◆アスマラ市内を視察、子どもたちと。廃品をリサイクルしていました

現地メディアも注目。新政権で初の政府代表訪問

一つ一つの公務を丁寧に



地元の声、国民の声を届けます

古屋拉致担当大臣（当時）に、北朝鮮による拉致の疑いが濃厚とされる河嶋功一さんご家族と面会していただく
田村厚生労働大臣（当時）に、グループホームに関する要望を届ける

担当する国・地域は139!!

日本のスポーツスマッシュ!

世界を舞台に翔ける!! 世界を再び外務副大臣へ

担当する地域は、アジアの21カ国、大洋州の15カ国、欧州の54カ国、アフリカの49カ国で、全体では139カ国となります。簡単に紹介してみま
すが、その分、やりがいを感じています。欧州は、幼い頃を過ごし、外務省時代にも駐在したドイツが含まれています。馴染みのある国々との外交に、外務副大臣として携わることは感慨深いものがあります。欧州は、国際論壇に対して大きな影響力を有しております。欧州主要国は、G8等の国際社会の枠組みでも、主要メンバーです。アフリカは、日本にとって大変重要な国々です。豊富な資源や11億人の人口を背景に、近年、高い経済成長を遂げています。ODAなど、日本とは以前から交流があり、親日の国も多いです。一方で、貧困や格差、紛争などの課題の解決は国際社会での主要関心事の一つです。

ところで、外交は、実は私たちの日々の暮らしとも深く関係しています。特に経済分野では、物産の往来ばかりでなく、人の往来など、日本と世界の国々とのつながりは一層増しています。そのため外務省では、広報にも力を入れて、定例記者会見は、週4日行われており、私の重要な公務の一つでもあります。海外に向けての広報として、伝統文化やボップカルチャー、そしてスポーツを通じた国際交流活動にも力を入れています。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの成功に向け、外務省も、安倍総理の掲げた「Sport for Tomorrow」プログラムを実施、スポーツを通じた国際貢献を行っています。

安倍晋三総理大臣は、2012年12月末の就任以来、49か国を訪問され、歴代首相としての海外訪問国数でトップになりました。安倍総理がいかに外交に力を入れているかが表れています。

日本の平和と安全、繁栄は、国際社会の平和と安定に密接に関連しており、外交の役割は益々高まっています。国民の皆さまにご理解いただき、ご支持いただかながら、「國益を守る外交」のために、頑張ります！



アラブ防災会議に参加

エジプト

アラブ防災会議開会式にて、英語でのスピーチ

ローザ・エジプト外務副大臣との会談